

熊本城ホールでの五輪パブリックビューイングは中止を！

市長「ライブサイト開催は感染リスクを高める懸念。開催可否の慎重な判断を東京都へ要望」



パブリックビューイング(東京都主催)熊本開催に不安の声

東京都は、45 億円の事業費で都内 6 会場・全国の被災地 6 会場での都主催パブリックビューイングを計画しました。

その一つが、熊本地震被災地の「熊本城ホール」です。

熊本での開催を知った市民の方々から、次々と不安や中止を求める声が寄せられました。

【熊本城ホールの実施内容】

8月1～4日(オリ期間中:4日間)
9月5～6日(パラ期間中:2日間)
*1日(7時間)3,000人、6日間の通算で18,000人の来場者を想定しています。

全国で無数に開かれるパブリックビューイングは、感染急拡大につながる大規模な人の流れが発生することは必至です。

東京都内をはじめ、県や政令市「横浜市」でも中止に

東京では、「代々木公園」会場が中止となり、6月になって「井の頭公園」の開催市・三鷹市が東京に中止を求める要望書を提出、墨田区・杉並区・荒川区・足立区・台東区の5区が中止を表明しています。県段階では、埼玉県・茨城県・千葉県などが

中止を決め、政令市では「横浜市」が中止を発表しました。

一般質問で上野議員は、「屋外会場が次々中止となる中、屋内開催の熊本城ホールは真っ先に中止すべき」と、政令市の市長として、直接東京都へ申し入れるよう求めました。

政府分科会「感染リスクを高めることをやるのは理解できない」

政府分科会の尾身会長は、「場所がどこであろうが、わざわざリスクを高めることをやるのは一般市民には理解できないというのが専門家の考え」と、全国のパブリックビューイングに懸念を示しています。

感染拡大防止に逆行するパブリックビューイングは中止するよう東京都に求めるべきです。

市長は、「ライブサイト開催は感染リスクが高い状況を生み出す恐れがある。開催の慎重な判断を、県をとおし都へ申し入れた」と答弁。

【控室から】
名古屋市で高齢者へのエアコン設置助成が実現
なすまどか

今年の4月6日、名古屋市は、高齢者を対象に、エアコン設置に対する助成を行うことを明らかにしました。対象者は市内在住の65歳以上の方、市民税非課税で、エアコンを世帯で所有していない方(故障で使用不可の場合も対象)、助成額は上限7万1000円までとなっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とし、コロナ禍における外出自粛に伴い、自宅における熱中症のリスクを軽減することが目的です。

熊本も梅雨の最中ですが、6月1日の最高気温33.3℃をはじめ、30℃を超える日が多発しています。私たち共産党熊本市議団も、繰り返し議会の中で、高齢者や障がい者に対するエアコン設置助成を求めてきました。

ワクチン接種が始まったものの、まだまだ外出自粛が求められている現状です。行政がステイホームを呼びかけるのなら、誰でも自宅で安心・快適に過ごすとともに、健康な生活が保障されるよう、エアコン設置に向けた助成を実施すべきです。引き続き、実現に向け頑張る決意です。



日本共産党 市議会だより
熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1238
2021年6月20日号
電話 328-2656
FAX 359-5047
メール:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP: 共産党 熊本市議団



検索

疑問・不安に応え、安全・迅速なワクチン接種へ

日本共産党熊本市議会だより 2021年6月20日号 (No.1238)

サポートが必要な人・障がい者へ、必要な支援体制を

世界的にも遅れた日本のワクチン接種は、感染拡大が止まらない中、重要な課題です。医療従事者に続き、5月から始まった本市の高齢者接種は、20万3,000人に一斉に送られた接種予約お知らせによる大混乱で始まりました。その後、市の体制が拡充され、公民館や地域での予約サポートセンターの設置で、少しずつ予約業務が改善されていきました。引き続き、市民の疑問や不安に応え、希望する市民への安全・迅速な接種が行われていくよう、市として万全の態勢で臨むことが求められます。

どのような人がサポートを必要とするのか、明らかに

高齢者への接種でわかったのは、自分で出来ないことへのサポートが極めて重要だという点でした。7月末から64歳以下の方々への接種が始まります。予約から接種までスムーズ

にすすめるためには、どういう人がサポートを必要とするかを明らかにし、相談を聞き、予約し、具体的に接種が完了するまでのトータルな支援体制構築が必要です。

局長「障がい者へは、個別の状況に応じた支援を行う」

障がい者は、障がいの種別や級、日常生活の状況など、さまざまな要因で、ひとりひとり必要な支援が違います。

上野みえこ議員は、その人に必要な支援を提供するため、特別な相談窓口設置、予約への支援、接種への支援などをすみやかな構築を求めました。

健康福祉局長は、「予約受付では、障がい者相談支援センターや関係支援団体と連携し、個別の状況に応じた支援を行う。接種会場でもスタッフによる丁寧なサポートを行い、会場への移動では移動支援サービスの利用を緩和を認めるなど、体制を整える」と答弁しました。

64歳以下のワクチン接種について

64歳以下の方の新型コロナワクチン接種が7月から始まります。

【「接種券」のお届け】

対象となる約45万人に、6月18日から順次発送されていきます。
(すべての到着までには、約3週間程度がかかる見通しです)

【予約と接種時期の見通し】

予約と接種時期のスケジュール見通しは以下のとおりです。

① 60歳以上の人・基礎疾患のある人・障がい者

7月10日(土)予約開始 ⇒ 接種・7月26日(月)～8月15日(日)

*基礎疾患は、国が示す疾患で治療中の方。

*障がい者は、精神・療育・身体の障がい者手帳所持者。

② 45歳以上の人

7月31日(土)予約開始 ⇒ 接種・8月16日(月)～9月5日(日)

③ 30歳以上の人

8月21日(土)予約開始 ⇒ 接種・9月6日(月)～9月26日(日)

④ 12歳以上30歳未満の人

9月11日(土)予約開始 ⇒ 接種・9月27日(月)～10月17日(日)

【予約方法】(インターネットまたは電話予約)

(1) インターネット：市役所HP 新型コロナワクチン接種予約専用サイト

(2) 電話の場合：ワクチン接種予約専用フリーダイヤル

☎ 0120-096-885 (8:30～19:00・土日祝OK)

【予約サポートセンター】市の公民館等に設置、引き続き利用できます。

【相談】 コロナワクチンコールセンター ☎096-300-5577

1回目接種の終わった方への「2回目接種」の連絡は、

接種した日から2週間後くらいに、「はがき」で市から2回目接種についてのお知らせが届きます。